

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成30年3月29日(2018.3.29)

【公表番号】特表2017-519239(P2017-519239A)

【公表日】平成29年7月13日(2017.7.13)

【年通号数】公開・登録公報2017-026

【出願番号】特願2016-567649(P2016-567649)

【国際特許分類】

G 1 0 L 19/008 (2013.01)

G 1 0 L 19/00 (2013.01)

G 1 0 L 19/002 (2013.01)

G 1 0 L 19/02 (2013.01)

H 0 4 S 5/00 (2006.01)

【F I】

G 1 0 L 19/008 2 0 0

G 1 0 L 19/00 3 3 0 B

G 1 0 L 19/002

G 1 0 L 19/02 1 6 0 A

H 0 4 S 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月15日(2018.2.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

音場を表す符号化された高次アンビソニックス(HOA)係数を復号するためのデバイスであって、

前記音場を表す前記符号化されたHOA係数を記憶するように構成されるメモリと、

1つまたは複数のプロセッサであって、前記メモリに記憶される前記符号化されたHOA係数を復号するように構成されるとき、

前記符号化されたHOA係数を含む符号化されたビットストリームの一部として、前記符号化されたHOA係数を表すオーディオオブジェクトを受信し、

前記音場の前記オーディオオブジェクトへの前記符号化されたビットストリームのいくつかのビットの割振りを示すビット割振りメタデータを受信し、

前記ビット割振りメタデータに基づいて、前記符号化されたビットストリームから前記オーディオオブジェクトを解析するために、前記符号化されたビットストリームから前記いくつかのビットを抽出し、

前記オーディオオブジェクトに基づいて、1つまたは複数のスピーカフィードをレンダリングし、

前記1つまたは複数のスピーカフィードを1つまたは複数のスピーカーに出力するように構成される1つまたは複数のプロセッサと

を備える、デバイス。

【請求項2】

前記ビット割振りメタデータメタデータが、前記音場を表す複数のオーディオオブジェクトの単一のオーディオオブジェクトに割り振ることができるビットの数に対する上限を

さらに含む、請求項1に記載のデバイス。

【請求項3】

前記1つまたは複数のプロセッサが、前記音場のオーディオオブジェクトが最大のビット数を超えるそれぞれの数のビットを割り振られないように、前記ビットを割り振るようにさらに構成される、請求項1に記載のデバイス。

【請求項4】

音場を表す符号化された高次アンビソニックス(HOA)係数を復号する方法であって、前記符号化されたHOA係数を含む符号化されたビットストリームの一部として、前記符号化されたHOA係数を表すオーディオオブジェクトを受信するステップと、

前記音場の前記オーディオオブジェクトへの前記符号化されたビットストリームのいくつかのビットの割り振りを示すビット割り振りメタデータを受信するステップと、

前記ビット割り振りメタデータに基づいて、前記符号化されたビットストリームから前記オーディオオブジェクトを解析するために、前記符号化されたビットストリームから前記いくつかのビットを抽出するステップと、

前記オーディオオブジェクトに基づいて、1つまたは複数のスピーカフィールドをレンダリングするステップと、

前記1つまたは複数のスピーカフィールドを1つまたは複数のスピーカーに出力するステップと

を備える、方法。

【請求項5】

前記ビット割り振りメタデータメタデータが、前記音場を表す複数のオーディオオブジェクトの単一のオーディオオブジェクトに割り振ることができるビットの数に対する上限をさらに含む、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記音場のオーディオオブジェクトが最大のビット数を超えるそれぞれの数のビットを割り振られないように、前記ビットを割り振るステップをさらに含む、請求項4に記載の方法。

【請求項7】

音場を表す符号化された高次アンビソニックス(HOA)係数を復号するためのデバイスであって、

前記符号化されたHOA係数を含む符号化されたビットストリームの一部として、前記符号化されたHOA係数を表すオーディオオブジェクトを受信するための手段と、

前記音場の前記オーディオオブジェクトへの前記符号化されたビットストリームのいくつかのビットの割り振りを示すビット割り振りメタデータを受信するための手段と、

前記ビット割り振りメタデータに基づいて、前記符号化されたビットストリームから前記オーディオオブジェクトを解析するために、前記符号化されたビットストリームから前記いくつかのビットを抽出するための手段と、

前記オーディオオブジェクトに基づいて、1つまたは複数のスピーカフィールドをレンダリングするための手段と、

前記1つまたは複数のスピーカフィールドを1つまたは複数のスピーカーに出力するための手段と

を備える、デバイス。

【請求項8】

前記ビット割り振りメタデータメタデータが、前記音場を表す複数のオーディオオブジェクトの単一のオーディオオブジェクトに割り振ることができるビットの数に対する上限をさらに含む、請求項7に記載のデバイス。

【請求項9】

前記音場のオーディオオブジェクトが最大のビット数を超えるそれぞれの数のビットを割り振られないように、前記ビットを割り振るための手段をさらに含む、請求項7に記載のデバイス。

**【請求項 10】**

実行されたとき、音場を表す符号化された高次アンビソニックス(HOA)係数を復号するためのデバイスのプロセッサに、

前記符号化されたHOA係数を含む符号化されたビットストリームの一部として、前記符号化されたHOA係数を表すオーディオオブジェクトを受信することと、

前記音場の前記オーディオオブジェクトへの前記符号化されたビットストリームのいくつかのビットの割振りを示すビット割振りメタデータを受信することと、

前記ビット割振りメタデータに基づいて、前記符号化されたビットストリームから前記オーディオオブジェクトを解析するために、前記符号化されたビットストリームから前記いくつかのビットを抽出することと、

前記オーディオオブジェクトに基づいて、1つまたは複数のスピーカーフィードをレンダリングすることと、

前記1つまたは複数のスピーカーフィードを1つまたは複数のスピーカーに出力することと

を行わせる命令で符号化される、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

**【請求項 11】**

前記ビット割振りメタデータメタデータが、前記音場を表す複数のオーディオオブジェクトの単一のオーディオオブジェクトに割り振ることができるビットの数に対する上限をさらに含む、請求項10に記載の非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

**【請求項 12】**

実行されたとき、前記プロセッサに、前記音場のオーディオオブジェクトが最大のビット数を超えるそれぞれの数のビットを割り振られないように、前記ビットを割り振るための命令でさらに符号化される、請求項10に記載の非一時的コンピュータ可読記憶媒体。